

2024年1月11日

高橋德行ゼミナール第3部

経済学部経営学科4年生安住幸恵

経済学部経営学科4年生加藤謙心

経済学部経営学科4年生金井將瑛

経済学部経営学科4年生山内耀太

## 起業したい学生が選ぶ企業と企業が起業したい学生を求める理由

我々は卒業後の進路の一つとして、起業を見据えながら一度企業に就職する学生に着目し研究を行った。2021年のGlobal University Entrepreneurial Spirit Student's Surveyによると、日本では大学生の進路として「卒業後5年後に創業者となる」と回答した学生が9.0%であり、「卒業後すぐに創業者となる」と回答した学生よりも6.0%高い数値となっている。またこの卒業5年後に創業者となると回答した学生のうち大企業への就職を望む割合が最も高く、大企業で働きつつ起業準備をすることを望んでいる学生が多いことが分かる。

今回このような起業志向の学生がどのような就職先を選択するのか、どのようなことを期待し就職するのかについて、起業を促進するとされる個人的企業家的志向性（IEO）が高い人の就職先や就職先に望むものに着目し調査した。また企業側は、起業志向学生に何を期待し採用するのかについても調査を行った。

先行研究から起業志向の学生は学習意欲、成長意欲が強く職業を自身の成長の手段として捉えることが分かっている。これにより仮説1：IEOが高い学生は起業意欲が強い、仮説2：起業を考えている学生は起業家に必要なメンタリティと姿勢を身に付けられることを勤務先選定の基準とする、仮説3：起業を考える学生は事業機会の発見に役立つ経験やスキルを身につけられることを勤務先の選定基準とする、仮説4：起業という目的から学生に対して積極性や成長意欲を期待し採用するとして調査した。

調査は196名（大学生175名、大学院生2名、社会人19名）へのアンケートと起業志向の学生へのインタビュー、企業2社へのインタビューを行った。アンケート調査では起業関心度、IEOの高さ毎に就職先へ求めるものを分けその傾向を分析した。調査結果から起業関心度が高い人ほど就職先へ「若いうちから裁量権があること」「成果主義であること」「自分の意見を上司が聞き入れてくれること」「新規事業に携われること」等を望む傾向があることが分かった。IEOの高い人も起業関心度が高い人と同じものを求めている。また起業を目指す学生へのインタビューでは起業に活かせる企業であること、経営陣と距離が近いスタートアップの企業であることを望むという回答を得た。企業側へのインタビューからは学生が目指す起業そのものに期待し採用するのではなく、起業よりも勤務を継続した場合に大きな戦力になることが期待されることから採用するという回答を得た。以上の調査により4つの仮説が支持された。